

ヨシちゃんのこと



マニフェスト

& 契約

8年6月 頃 門川市長提案で温室効果ガス削減策としてコンビニ深夜営業自主規制を求める発表がありました。当初は「市民会議を開いて…」など検討する姿勢だと聞いていたしテレビ他マスコミ話題になっていました。最近は何にも仰らないなあと気にしていたら2月25日「法的規制は断念」と報じられました。この一年半余どんな検討をされ、何故断念されたのかサッパリ判らないのです。

私は京都府市内で24年前にコンビニ二営業を始め今も続けています。この問題は私たちコンビニ二経営者は「どうなるか？」と固唾をのんで気にしていました。コンビニという事業はチェーン本部と加盟店双方が合意した契約で成り立っています。年中無休24時間営業も契約の重要条件で、反すると違約金或いは負担援助金が減額と契約条項に書いてあります。この条項は法律違反ではありません。



私は京都府市内で24年前にコンビニ二営業を始め今も続けています。

ませんし、相互が合意確認をしています。合意したと言っても両者のリスクや負担が必ず「平等でなくても良い」のは契約では常識の範囲内。非常に力の強いものに都合よく出来ているのです。「苦い薬でも、身体のためにはのむ」と同じようなものです。

深夜営業や年中無休は止めたいと思うコンビニ二経営者は多いと思いますが、契約と言ふ名の壁は高く簡単には越えられないものでありません。市長さんのご提案は無理かも知れないと思いつつ期待もしていません。だが当事者にも途中経過が判らず、断念の説明は一切無いママとは。何



の「チヤ！」。結果的にコンビニは温暖化ガスをバウ撤く悪者のように市民に思われただけとすな。カワイソ市長さんの発言は「公約だ」と理解していましたが近頃流行のマニフェストも日本語では公約と言つものらしい。そのどちらも結果責任は契約のように厳しく負わされたとい聞したことがあります。何時も「言つたもん勝ち」や「こんなアホみたいないなことが許されるはずは無い、市会や市民が何か言うと思つていますが静かでした。それで投

た。その後飲料水製造工場が設立され88年、「三ツ矢平野水」の名称で販売され、宮内省へ納入する御用品製造所が建設される。当時販売価格は1本20銭。ビール大ビン1本、日本酒1升2銭、キツネうどん1銭の時代でかなり高級な商品である。サイダーは80年(明42)発売である。夏目漱石は「思い出す事な分を含む無色無臭透明のアルカリ食塩泉の「平野水(ひらのすい)」を基にして生まれものだ。「平野水」は、明治初年に日本政府の依頼で外国人接待用のミネラル水を探し、初めて飲料用としてとりあげ

平野水

今は「ミネラルウォーター」は日常飲まれているが、これは極最近のこと。800年(昭35)頃迄は「清飲料水」と言えば「ラムネかサイダー」特に「三ツ矢サイダー」が圧倒的に強かった。

その「三ツ矢」は川西市平野温泉湧出水、炭酸ガスと鉄分を含む無色無臭透明のアルカリ食塩泉の「平野水(ひらのすい)」を基にして生まれものだ。「平野水」は、明治初年に日本政府の依頼で外国人接待用のミネラル水を探し、初めて飲料用としてとりあげ

た。その後飲料水製造工場が設立され88年、「三ツ矢平野水」の名称で販売され、宮内省へ納入する御用品製造所が建設される。当時販売価格は1本20銭。ビール大ビン1本、日本酒1升2銭、キツネうどん1銭の時代でかなり高級な商品である。サイダーは80年(明42)発売である。夏目漱石は「思い出す事な分を含む無色無臭透明のアルカリ食塩泉の「平野水(ひらのすい)」を基にして生まれものだ。「平野水」は、明治初年に日本政府の依頼で外国人接待用のミネラル水を探し、初めて飲料用としてとりあげ



朝粥会高桑先生の話補足 竹の箸は「カビ防止のため」30%防腐剤使用されている。西洋は切る突く。中国は掬う。日本は掴む掴む食文化、で「お箸」は日本で生まれたと教えて戴きました。

ツイッター ツイッターは今大流行のインターネット上の「メール」のような道具です。

「いまだどうしてる」という枠のなかに「文字」で「つぶやき」を入れると多くの人に見られます。オバマ大統領が選挙に勝つたのはツイッターのお陰だと言います。

新物好きオチオチヨイのヨシちゃんも使い出しました。そこに「私は、みほ、埼玉に住んでいます」と出ていました。私は「私の娘も「みほ」、埼玉に住んでいます。マサカお前やないだらうね」と「つぶやき」を送りました。「お前は私・みほ」と「つぶやき」が戻ってきました。以後便利に使っています。私のツイッター・アドレスは y s o s a k e フォローしてや。ヨシちゃん

(注) 閑院宮家邸は三十三間堂東側。戦後暫く日赤病院になっていたが現在は血液センターと現ハイアットホテルの所、白土壁は宮邸のママ残る。戦後南海地震で白土塀の多く倒壊。

京都&東山 ぶらりピカリ

21

女性・扇子・焼物

骨牌・寺院の町東山

京都市内でも東山区は表題の女性・寺院が住み分けつらなりながら生活基盤を形成してきた歴史の特異な町。そして区の北部に祇園と宮川町と2つの花街があることから女性の比率の一番高い行政区である。



扇骨の日干し

京扇子は平安前期880年 元慶(オノノ)頃、京でつくられ、日本から世界に広がったもの。扇子造りは大きく分けて四つ工程を経て完成する裾野の広い産業で、その職人さんは五条以南に集中して住み、京扇子を扱う商店も多かった。

焼物(清水焼)は五条から今熊野の東大路辺りから東山裾に窯元も多く、五条坂には清水焼の商店が軒を連ねていた。馬町の陶芸家河井寛次郎記念館には「登り窯」跡があり、昭和24年頃まで使われていて、馬町辺りでは黒い煙が空を被つようなこともあった。今熊野では碍子、セラミックを造る窯もあり1922年(大11)「松風陶器製造株式会社」が創業。京セラの稲盛さんも同社に勤務された時代もある。

る。又、現「村田製作所」は1929年(大14年)村田吉良氏が東山泉涌寺で陶器屋を始めたのが興りである。

次代の村田昭氏はこの泉涌寺地区に育ち、清水焼という伝統産業の中から電子・セラミックスという新しい技術を創り出す村田製作所を創立した。

骨牌 カルタ)は江戸時代からこの町で多くつくられていた。恐らく扇子の行程の紙を貼る職人さんが多くいたからだろう。

本町正面下には寛政年間(1800)創業の大石大狗堂(現在伏見区)があり、正面橋を渡ると1889年(明20)任天堂が創業、その名称はカルタ花札だけに「運を天に任ず」からとか?。現在は世界の任天堂であるが幾多の苦難を越えてこられた。創業者の跡を継いだ山内博社長は昭和49年、早稲田大学を中退して「トランプと花札屋」だった任天堂を三代目として継ぎました。その時弱冠22歳の若さでした。会社の鳥羽街道移転最初の頃は、組合のストライキの洗礼を受け苦勞されたが「麻雀牌・プラスチックトランプ」

「ケツタイな」ケツタイイナ・エケツナイは関西以外では通じ無い言葉だったが吉本興行さんの功績で最近はそのでもないらしい。字典で調べると形容動詞、妙な・変な・変てこな・おかしな・奇態な・いやな・不思議な等、いろいろな意味だとなる。「ケツタイな奴やなあ」は普通やない、常識のない人を指す。

「ケツタイな」ケツタイイナ・エケツナイは関西以外では通じ無い言葉だったが吉本興行さんの功績で最近はそのでもないらしい。字典で調べると形容動詞、妙な・変な・変てこな・おかしな・奇態な・いやな・不思議な等、いろいろな意味だとなる。「ケツタイな奴やなあ」は普通やない、常識のない人を指す。

「ケツタイな」ケツタイイナ・エケツナイは関西以外では通じ無い言葉だったが吉本興行さんの功績で最近はそのでもないらしい。字典で調べると形容動詞、妙な・変な・変てこな・おかしな・奇態な・いやな・不思議な等、いろいろな意味だとなる。「ケツタイな奴やなあ」は普通やない、常識のない人を指す。

「ケツタイな」ケツタイイナ・エケツナイは関西以外では通じ無い言葉だったが吉本興行さんの功績で最近はそのでもないらしい。字典で調べると形容動詞、妙な・変な・変てこな・おかしな・奇態な・いやな・不思議な等、いろいろな意味だとなる。「ケツタイな奴やなあ」は普通やない、常識のない人を指す。

「ケツタイな」ケツタイイナ・エケツナイは関西以外では通じ無い言葉だったが吉本興行さんの功績で最近はそのでもないらしい。字典で調べると形容動詞、妙な・変な・変てこな・おかしな・奇態な・いやな・不思議な等、いろいろな意味だとなる。「ケツタイな奴やなあ」は普通やない、常識のない人を指す。

正面橋西・山内任天堂

する村田製作所・京セラ・任天堂の操盤の地である。過つて東山は上京区と並ぶ酒の町でもあった。祇園町もあり、寺院社寺の門前には酒蔵が多く、昭和初年まで私どもの店のある「貞教寺区」だけでも五つ酒造家があった。今は東山に酒蔵は無く上京も佐々木酒造(俳優佐々木蔵之助氏の親元)だけである。

只、鞘町五条下がるの「株式会社村中村堂」は戦後も「開花」の名で酒を造り販売されていた酒蔵の面影を残したところで酒につらなる酵母酵素ユナルゲン等を開発され製品として全国に販売されている。

ケツタイな 一ツの話

「ケツタイな」ケツタイイナ・エケツナイは関西以外では通じ無い言葉だったが吉本興行さんの功績で最近はそのでもないらしい。字典で調べると形容動詞、妙な・変な・変てこな・おかしな・奇態な・いやな・不思議な等、いろいろな意味だとなる。「ケツタイな奴やなあ」は普通やない、常識のない人を指す。

ムラタセイサク君



身長50cm
体重約9kg
生年月日
・2005年
9月29日
星座 てんびん座
趣味・サイクリング。夢・世界一周
座右の銘・七転び八起き。
妹・セイコちゃん。
ウワサの「ムラタセイサク君」

にネット上で会いました。補助輪なしで自転車に乗る「ムラタセイサク君」。曲がる、停まるは当たり前。地に足をつけることなく、タイヤだけでその場に静止できる。人間よりずっと器用なロボットです。育成費教育費は国産最高級自動車の値段要したらしい。
この子の本籍は東山泉湧寺
東山はエ工町どすなあ。

くれ京阪駅にも近く便利だから常識的の考えてテッキリ跡地は警察署になると思っていた。
ところが東大路東側、消防署と区役署の向かい側に造られた。観光シーズンは車渋滞の名所。正に渋滞の朝青龍。火事と喧嘩が同時に起きたらどっちが先に出るかで喧嘩になりそう。
ケツタイやなあと考えて判った。学校は「市立」警察は「府」、建つ前「府立洛東病院」と縄張りが違つたのだ。火消し「い組」銭形平次の江戸時代から縄張意識は、お上では生き続けているのだ。



戦後間もないインフレ時代私の祖母が「家は人に貸すもんじゃない」と良く嘆いていた。数軒借家があったが家賃を値上げ出来ず困っていたから。最近「貸し借り」は双方の権利を合理的に平等に近くなるように法律が改正されている。地主・借る人とが話し合で決める。時には不動産屋さんや仲介に入るけれど、この両者の権利関係に管理人は「でしゃばれない」の

が普通の世界。
ところがケツタイナ話で地主に相談はおろか知らん顔で貸して「上屋」まで建てさせる。おまけに出入り口や駐車場も地主の土地に地主の金を使って準備万端で準備までしてあげるといふ管理人がいる。オマケに又その借り手が評判の悪い不動産屋。前に相場より安い値段で「宿屋」を買ひ損ねをしたお方。その損を今度取り戻すつもりでオリックス。建物にはイルカを入居させ見世物にすると言つ。その土地は、イザと言つ時、店や家族や近所の避難用につくった庭。しもたこんな管理人を雇つたやなかつた言つても、契約で二年先まで解雇は難しい。地主も地主の代理人もシッカリせんと、世間に笑われます。老舗でエ工店やと来ておくれやしたお客さんに「品がのうなつた」とソツポ向かれかねへん。エライこつちや。管理人・水道屋・下水屋のエライ人は江ノ島水族館を招待視察したと聞く出来レースか?。

酒屋で生きて 生かされて

第四十六話

ローカルと ナショナル

戦後のビール業界

戦後、占領軍主導で財閥解体、集中排除法で各企業分割が始まりました。当時麦酒は大日本と麒麟の二社だけで、大日本8割麒麟2割シェア。大日本麦酒は東：西に二分割、麒麟は分割を免れました。酒類は官製統制会社を通し流通（配給）してたが民間に、更に1950年 昭25）酒卸免許が緩和されました。



「ユニオン麦酒」を扱っていた関係で朝日麦酒特約店になりました。その時期京都府で酒卸は20数店できましたが「日本（現サッポロ以下表記サッポロ）」は0（昭27一店出来）麒麟は6後は全て朝日でした。1952年（昭27）頃から日本の経済発展は急加速で向上します。東西の人々の交流が増えてきました。ビールも徐々に販売量が増加しました。麦酒会社が名古屋を境に、東は殆んどサッポロと麒麟しか消費者は飲めず、その代わりに西は朝日と麒麟。飲食は習慣性が強く馴染みの銘柄を指名します。極端な表現をすれば「麒麟」はナショナルブランド。朝日は西日本・サッポロは東日本のローカルブランド状態になり、その結果で「麒麟」の躍進が始まりました。



朝日は東京大森と名古屋・サッポロは大阪茨木麦酒工場をつくり販売網も広げました。麒麟麦酒は昭29年（明6）岩崎弥太郎が興した三菱と明治屋が創った会社です。圧倒的に朝日が強く麒麟は20%しかない京・大阪へ猛烈な攻勢をかけました。酒業界での攻勢は、値段を安く、販売店に好条件を与える方法が通常でした。

麒麟は、全く違う戦術で、支払済度は短く、且つ値段は崩さない。酒小売店が「ケチンビール」と言う程グラスなど有料、特約店同士の競合も押さえる形です。当然、酒小売店は利幅の少ない麒麟の販売は消極的です。料飲店などへは「朝日」を薦めます。その料飲店に三菱グループの人が行くと「麒麟」を注文、極端な例ですが「この店の私の最高級のビール」と高らかにうたった「アサヒゴールド」を発売、翌年日本で初めて缶入りで発売された。泡も細やかで味の豊かなビールだった。昨年9月・復刻版（写真）が限定発売



いが悪いから麒麟を酒屋が納めないのと違うか？」と言つたそうです。お客さんにそう言われると酒屋さんに「次は麒麟」を注文することになるのです。銀行商社自動車電機等々三菱系列挙げての大応援です。麒麟はジュワッ、地に水がしみ込む様にシエアーを上げました。以下次号

へび奇人

金澤ひろあき

昨年の暮れ、高田栄一さんの訃報が届きました。高田栄一さんは虫類研究家。へびが大好きな人です。へびと数学の苦手な私が高田栄一さんと知り合ったのも、詩の縁でした。

東京にいる俳人・市川正直さんがまだ「泥水」という雑誌を出されていた頃、私も高田栄一さんも「泥水」の投稿仲間でした。短詩人という詩の集まりの時、宿泊の部屋が一緒になったこともあり、お話をけっこううかがい、後日著作をいただいたりもしました。へび乳類の偽善はいやだ。その点は虫類は正直。は虫類は信じているのは自分だけ。変な同情や妥協がないところがいいんだ。とおっしゃるんです。作歌の椎名誠氏が若い頃のサラリーマン時代、その上司だったそうで、その時ポケットの中で、きれいな緑色の毒蛇を入れてかわいがっていた

そんな。椎名誠氏の小説の中にも、そのシーンが出てくるそうです。私が高田栄一さんと同宿した日もポケットに入っていたのかしらん。同宿した時おうかがいした話の中で印象に残っているのが、コブラの毒体験。「コブラの毒って、どんな気分か知ってる？」「いや、わかりませんが・・・。」「どんなふうになるのか、やってみたんだよ。といつても、そのままで即死だから、毒液をうすめてね。うすめた液を手にちよっとだけ塗ってみた。」

「どうなりました。」「感覚が全くなくなつてしまてね。腕が思い通り動かなくなる。」「・・・。」また、「今度お会いした時に、へびをさわらせてあげましょう。へび嫌いの人にさわつてもらつて感想を聞くのがおもしろい。生命や心の考察ができる。へび嫌いの人の人生観が変わることもある。」真剣な話。今度あつたらどうしようとお話しておりました。もしそうしていたら、私の人生観、変わっていたのかな。そのうち、東京ではたくさんへびを飼っていくので、沖繩に移られたらということも聞いた頃より、めったに会えなくなりました。無理をしても、お会いしていたほうがよかつたのやら、どうやら。 (投稿感謝します)

編集後記

平成七年5月「まいど」、9年紙名を「とんからりん」と代えたミニコミも127号になりました。途中休刊有り）友の会員様のみ配付して偶に「読んだえ」とお声をいたたくが編集者の「アク」が強すぎるのか読者「会員さんは余り増えませぬ。よその「友の会」は「会費タダ」の時代に当社は毎年度末3月）「年会費」戴き会員証を更新して戴く。いつも4月に会員数は減少します。毎年それを繰り返しますので、会費をタダに思つたこともありますが数だけ増やせば良いとは思えないので今に至つてます。

勿論商売をしているので、お客様（ファン）は多い方が有り難いですが、キャッチボールできる人数は、相手が見え、見られる数には限度有ります。キャッチボールのお相手は「友の会会員」さん。「暴投」を避けるために年会費を戴き、返球は忘れず致します。歳はとりましたが「肩」は至つて丈夫。倍の人数でも充分投げられます。お知り合いやお友だちを会員にお誘いして欲しく案内を入れました。近々もつとお役に立つ仕事をと提案をしています。後三年で創業百年、それまでも、それからも頑張ろうと思つています。